

ふるさと再発見

市川泰朴たいぼくの解体図

天保14年（1843年）10月、市川泰朴という島原藩の医師が、全国的に見ても先駆的な人体解剖を行いました。

泰朴は先魁で生まれ、20歳で江戸に修行に行き、修行を終えて帰郷した30歳の彼のもとには、領内各地から治療を願う人が集まったと伝えられています。

診療を行いながらも医学に傾ける情熱はやむことがなく、藩に死体解剖の願書を出し、医師仲間とともに解剖を行いました。

当時、人体の中の様子はあまり知られていませんでしたが、医師たちは医学の向上を思い、人体解剖に非常に関



心を持っていました。

しかし、当時の人体解剖は罪悪のようにならされていたため、解剖にあたった医師たちは、親兄弟にも秘密にしていたそうです。

現在、島原城に展示してある「市川泰朴の解体図」は天保15年（1844年）に行った二回目の解剖記録です。

この解体図は、上田平内へいないという絵師が描いたもので、筋肉部分は褐色、臓器は青色、血管は赤色できれいに着色されており、幅80センチ、長さ5メートルの巻物になっています。

解体図は、島原藩の医術の先進性と医学向上に情熱をかけた人たちがいたことを物語る資料として、昭和50年に市の文化財に指定されました。

クローズアップ Close Up!



がんばんらば体操教室

「♪がんばんらば なんでん かんでん がんばんらば」

皆さんは、テンポ良い音楽に合わせてコミカルな動きのダンスがアレンジされた「がんばんらば体操」を知っていますか。

がんばんらば体操は、県民の健康や体力の増進と平成26年に開催される「長崎がんばんらば国体」の気運を盛り上げることを目的に創作された体操です。

平和祈念像や龍のポーズ、のんのこやハタ揚げなどの動きが取り入れられていて、長崎らしい振り付けが特徴で、いろいろなイベントで披露されています。

市では、県とともにこの体操の普及を進めていて、がんばんらば体操教室を4月から月に1回ずつ実施しています。指導者の一人、体育指導委員でがんばんらば体操地域インストラクターの川本まなみさんに教室の様子を聞くと「楽しく体を動かせるので、健康の維持・増進に非常に効果があります。難しい動きもありですが、何度か練習すれば皆さんすぐにできるようになります。健やかに生活できるように、たくさんの方が体操を体験して欲しいですね」と話してくれました。また、川本さんは知り合いの愛好者のみなさんと週に1回この体操の勉強会を行っていて、依頼があれば小学校の運動会や幼稚園などいろいろなイベントでこの体操を披露しているそうです。

皆さんも、この体操をマスターして、市民全員で長崎国体を盛り上げましょう。

がんばんらば体操教室

〇とき 毎月第4金曜日
15時30分から16時30分まで
〇ところ 市体育館
〇問い合わせ先 文化・スポーツ振興グループスポーツ
振興班（☎5474）

長崎
がんばんらば
国体



マスコット
キャラクター
「がんばんくん」